

TTC 提案山行計画表

[2015年4月15日改訂 ET]【1/3】

1. 山行計画	日高山脈の盟主 幌尻岳登頂(2052m) [幌尻岳:2052m、戸蔭別岳:1959m、/北海道]
2. 目的	日本百名山、最難関と呼ばれる幌尻岳に額平川ルートより、渡渉を繰り返して、アプローチする。戸蔭別岳まで行き幌尻岳の全景を眺め、ポロ・シリ(大きな山)を実感する。
3. 期日	7/24(金)~7/28(火)
4. レベル・交通手段	レベル:★★★★☆、交通:公共交通利用+レンタカー、 募集人員: ~8名 程度
5. パーティスタッフ	CL: SL: 会計: 救護: 写真:
6. 歩行(ガイドブック)/行動	7/25: 歩行 4:50 (ガイドブック4:00)/ 行動 6:30 7/26: 歩行 9:30 (ガイドブック9:10)/ 行動 11:40 7/27: 歩行 4:20 (ガイドブック3:40)/ 行動 4:50 計: 歩行 18:40 (ガイドブック16:50)
7. 集合場所・時間	7/24[金] 羽田空港 11:00頃 集合、
8. 解散場所・時間	7/28[火] 羽田空港 19:00頃着
9. 費用	・航空運賃 羽田~新千歳: ¥42,080/人(往復)、 (注)75日前割引適用, ANA ・レンタカー 4日間: ¥29,030/1台、・マイカー-車両提供代: @10×200km=¥2,000/1台 (注)車両費用負担は、7名 ・ドライバー謝礼: @2,500×2日×1台=¥10,000、・燃料代: @200km (仮) ¥5,600/2台、→ 車両分: ¥6,662/人 ・シャトルバス(とよぬか山荘⇄第2ゲート): ¥4,000/人(往復)、 <交通費> :計各¥52,742/人、 ・とよぬか山荘:1泊2食¥5,000、幌尻山荘:@1,500×2泊、びらとり温泉ゆから: ¥14,325 <宿泊料> :計各¥22,325/人、 ・共同食糧費&光熱費: 7食分 (仮) ¥5,000/人、・予備費: (仮) ¥3,933/人
10: 行程	7/24(金) ANA063便 日産レンタカー 本厚木駅====横浜駅====羽田空港====新千歳空港====とよぬか山荘 泊 12:00 13:35/14:30 95km 16:30頃 7/25(土) シャトルバス 1:00 1:50 (休20) (休20) 3:00 /2:10 (休60) とよぬか山荘====第2ゲート====取水施設====幌尻山荘 泊 7:00 発 8:00 着-20 林道 10:30-10:50 23回渡渉 幅≒10m 14:50 7/26(日) 1:50 (休10) (休10) 2:20 (休20) (休30) 0:40 (休10) 1:30 (休20) 幌尻山荘====命の泉====幌尻岳 2052m====七つ沼カール展望点====戸蔭別岳 1959m==== 4:00 起床-5:00 7:00-10 9:50-10:20 11:00-10 熊注意 12:40-13:00 0:20 1:00 (休10) (休10) 1:50/1:30 (休10) ====山荘分岐====五の沢口====幌尻山荘 13:20 14:30-40 3~4回渡渉 16:40 7/27(月) 2:40 / 2:00 (休20) 1:40 (休10) シャトルバス 1:00 予備宿泊 幌尻山荘====取水施設====第2ゲート====とよぬか山荘====温泉入浴====びらとりの湯 泊 5:00 起床-6:00 9:00-10 11:00-11:30 発 12:30 着 (びらとりの湯) 15:00頃 7/28(火) 予備日(トヨタ等なき場合、観光に充当) ANA074便 びらとりの湯====新千歳空港====羽田空港====本厚木駅 8:30 17:30 発 19:05 解散 ※2011年以降、車両の入山規制が実施され、第2ゲートまでは、町営のシャトルバスを利用しなければ入れない。(21km区間) とよぬか山荘が発着場所で往4便、復3便の運行(予約制)。降雨時や増水時は、シャトルバスの運行が中止され、入山不可。(昨年は、台風等により7/27~8/23間で延べ15日間運行が中止) ※入山後、増水により下山困難となった場合、山荘での停滞を想定し、1日予備日を設定する。
11. 1/25000 地形図	幌尻岳
12. 問い合わせ先	平取町山岳会事務所:01457-3-3838、平取町観光協会:01457-2-2223、 とよぬか山荘(旧豊糠中学校):01457-3-3838、(〒055-0415 北海道沙流郡平取町字豊糠 24-3) レンタカー会社(航空券とセット手配):
13. 共同装備	ツェルト、コンロ/コッヘル/ガスボンベ、医薬品一式、共同食糧
14. リーダー装備	登山ガイド標準装備相当
15. 個人装備	・避難小屋泊山行標準装備 (山小屋泊登山標準装備+寝袋、マット、・個人用食器類、など) ・渡渉用装備 (溪流シューズ、渡渉用着替え、ザック内荷防水対応、登山靴収納防水袋など) ・行動食・非常食・予備食糧(1日)・防寒衣(北海道、夏・高山対応)、ダブルストック ・飲料水(エキノコックス対応で生水不可、2日目以降は、沸かして携帯) ・携帯電話(登山中、山頂以外 圏外)・熊除けベル(所有している人で可)

※参加者が確定した後、参加者に準備詳細を別途、連絡

【2/3】

16. コース概念図



＜累積標高差＞

※登山 1日目

+ 447m
- 85m

※登山 2日目

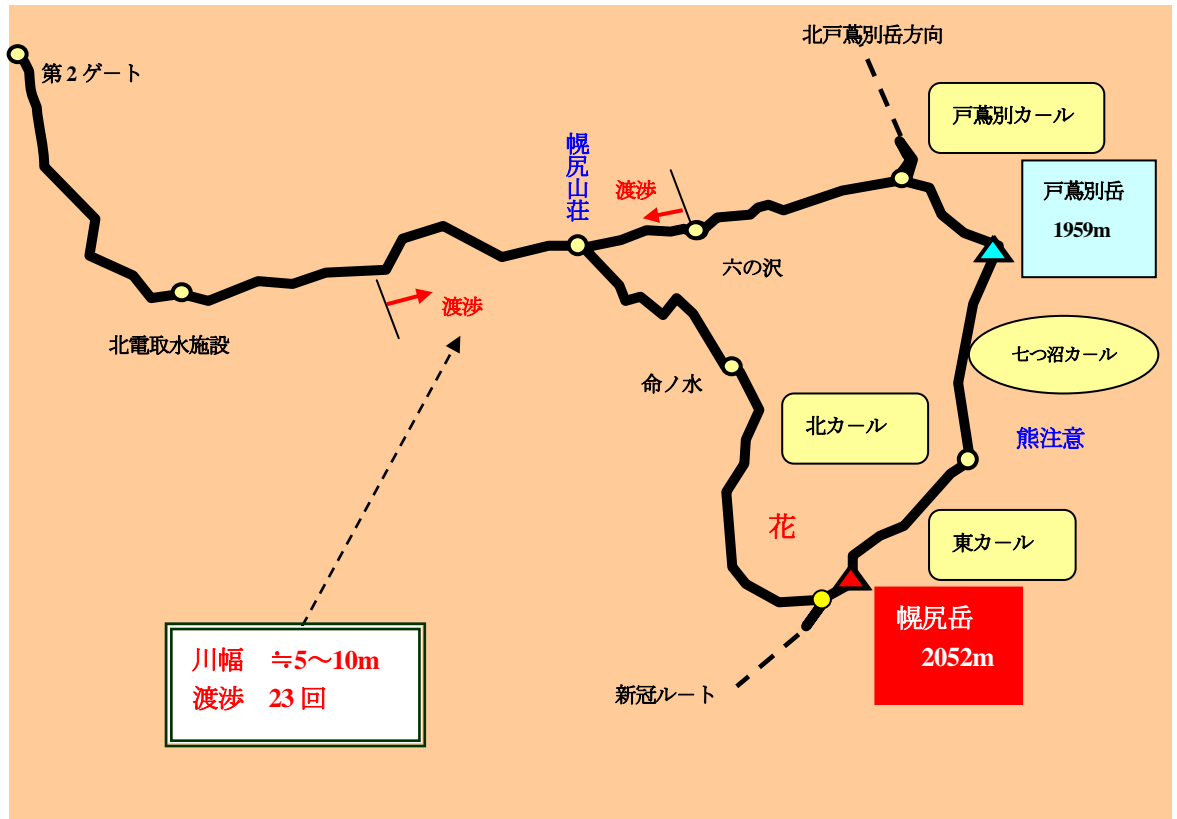
+ 1,420m
- 1,419m

※登山 3日目

+ 85m
- 447m

(合計)

+ 1,952m
- 1,951m



- ※ テント設営可能場所は、幌尻岳を越えて七つ沼カール底部へ降りたテントサイトのみで一般的には、完全予約制の幌尻山荘(定員50名、素泊小屋)に宿泊したアプローチとなる。
- ※ 渡渉は、滝などをよじ登るいわゆる沢のぼりとは、イメージが違い、登山道がないため、浅瀬を選んで此岸から向岸へと渡渉を繰り返しながら、川原を登って行くもので通常、7月下旬は、水深30cm程度である。登山地的には、実線ルートの登山道扱いであるが雪解けの量や天候により、腰の高さを越える水深となる事もある。(降雨が続くと一気に水かさが増し、激流となる事もある。)
- ※ ヒグマとの遭遇報告が多い山域なので事前情報の取得と警戒鈴が必須。
(昨年報告…7月19日7時のシャトルバスで出発、林道歩き始めて1.7kで遭遇)

17. 募集締切日

2015年3月例会(3月21日[土])
※幌尻山荘の予約開始が4月1日の9:00からなのでそれまでに参加者を確定。

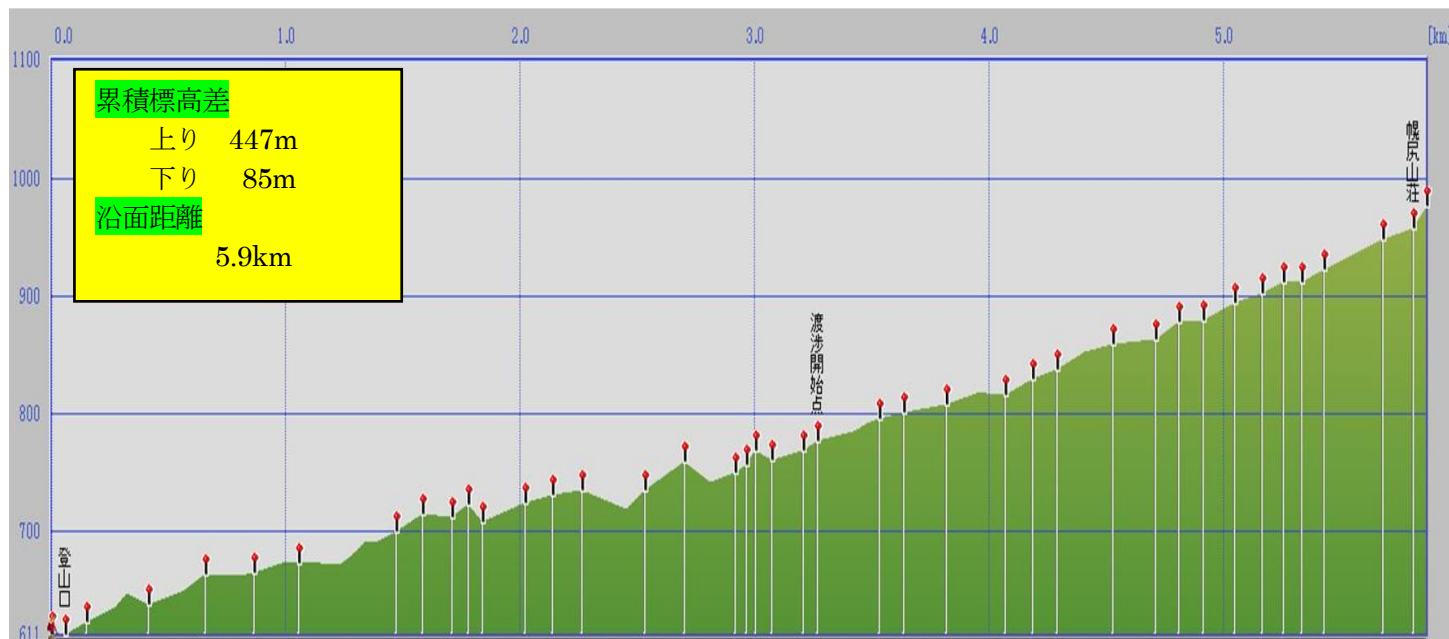
18. 説明会

2015年2月例会(2月21日[土]) 電子版配布(2/8)

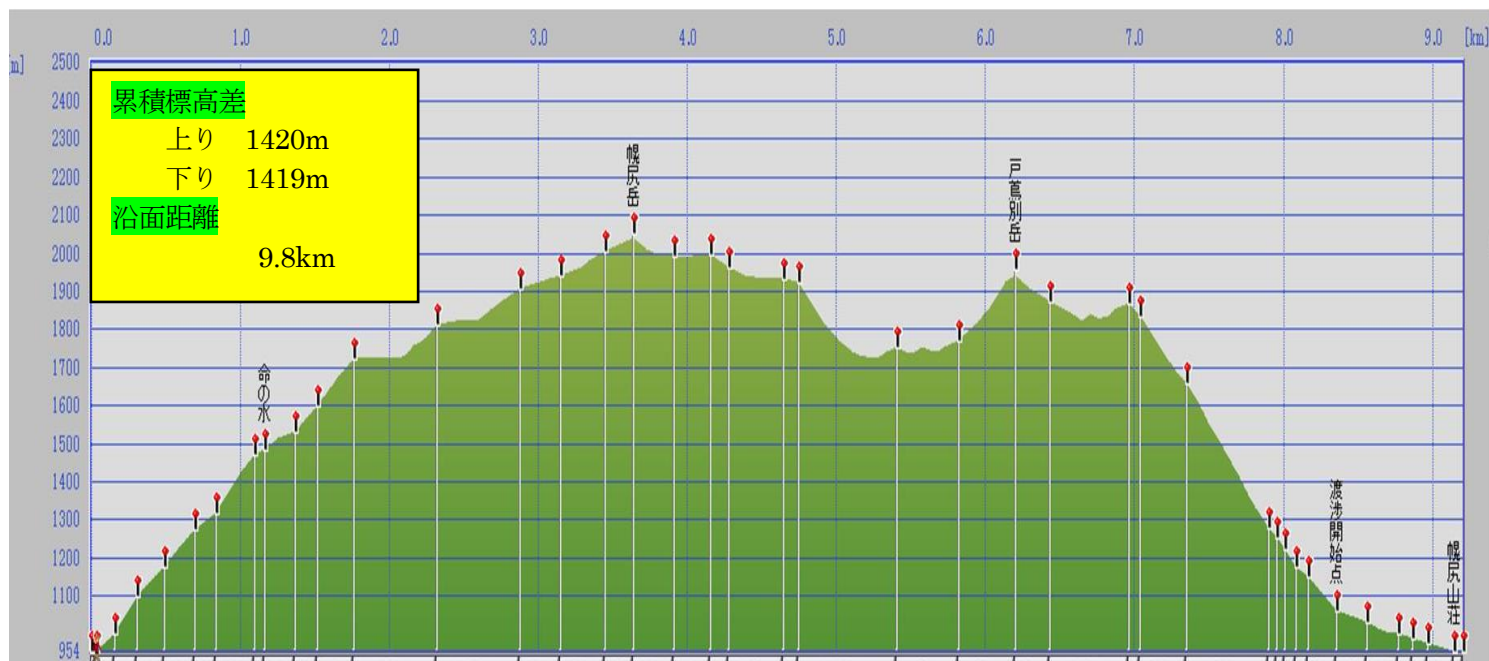
19. 特記事項

- ◇申し込み受け付けにあたって
- 1) 山行レベルは、★★★★☆となるので「TTC 上級レベル山行への参加に関するガイドライン」に沿った申し込みを御願いたします。シニアメンバーの方は、体力に自信があり責任の持てる方のみの申し込みとして下さい。
 - 2) ザイルを使つての渡渉は、かえって危険となる場合があります、実施しませんので水深60cm程度までは、自力にて渡渉可能な体力・技術を有している方のみの受付と致します。また、「避難小屋2泊3日縦走レベル」相当のザック重量を背負いながらの縦走となりますが渡渉区間を除いた登山道は、ガイドブックと同程度の歩行時間で歩ける方を基本とします。渡渉未経験の方は、事前に渡渉体験会を開催しますので参加して下さい。
 - 3) 当該ルートは、天候に大きく左右され、現地に行つて、山行が中止になる可能性もある事を承知の上、申込みを御願したい。(降雨によりシャトルバスの運行停止や水深60cm以上が想定される場合など)
(シャトルバスが運行しても渡渉ポイントまで行って水深を確認し、引き返す事もあります)
 - 4) 多人数で連泊のため、幌尻山荘の予約が困難な事が想定され、計画日に取得できない場合、前後2~3日ずらして日程を変更する事もありますので予め承知していただきたい。(4月1日に確定)
 - 5) 4月段階で交通、宿泊等の手配を完了させます(山荘や航空運賃などは、先払い)。従つて以降についてのキャンセルは、多額のキャンセル料が発生します。確度の高い申し込みを御願いたします。
- ◇行程の変更
- ・山頂部の視界が悪く、眺望が得られない場合は、戸蔭別岳へのルートを変更し、ピストンとする。
 - ・降雨の予報により、短縮して下山する場合など臨機応変に行程を変更する事があります。

登山口～幌尻山荘



幌尻山荘～幌尻岳周回



参考

幌尻岳 2052m

撮影 2012-7-21 戸蔭別岳山頂より



七つ沼カール

北カール